

秋レタス栽培におけるオオタバコガの重点防除時期



農業総合センター園芸研究所

秋レタス栽培において、可販品率の低下をもたらす難防除害虫オオタバコガに対しては、結球期の防除が重要です。特に、結球始期7日後以降は、幼虫が株内に残りやすくなるため、重点的な防除が必要です。

効果の高い薬剤の組み合わせ

レタスの中心が野球のボール大になった頃（結球始期7日後）を目安に、速効性のエマメクチン安息香酸塩乳剤（商品名：アフーム乳剤）2000倍液を散布し、その4日後に速効性で効果持続期間の長いフルベンジアミド顆粒水和剤（商品名：フェニックス顆粒水和剤）2000倍液を連続散布することで、結球部の被害を効果的に軽減できます。



写真. 結球始期7日後のレタス

現地での防除効果と減農薬効果

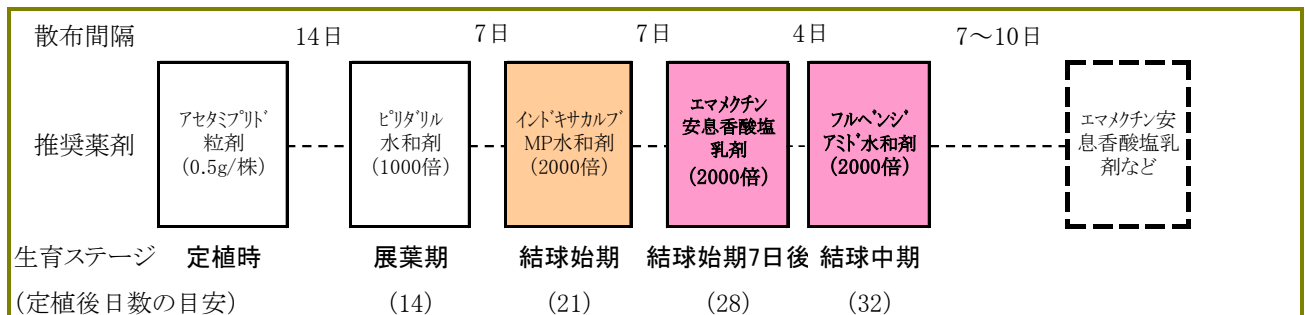
定植2週間後から7日間隔で防除を実施する散布体系に、上述の重点防除を組み合わせた現地試験では、農家慣行と同等以上の防除効果が確認されました。また、薬剤使用量は、農家慣行と比較して散布回数で0.7回、成分回数で2.8回少なく、レタス栽培における薬剤使用量の削減が期待できます。

表1. 結城市秋レタス栽培におけるオオタバコガ防除効果および殺虫剤の使用回数

| 防除方法 | 結球部被害株率(%) | 散布回数(回) | 成分回数(回) |
|------|------------|---------|---------|
| 体系防除 | 2.3 | 5.2 | 5.2 |
| 慣行防除 | 11.0 | 5.9 | 8.0 |

防除体系のモデル

定植時に粒剤を処理し、2週間後から7日間隔で防除を実施します。結球始期以降は、速効的な薬剤が有効です（下図）。重点防除後は、収穫前日数に注意して、害虫の発生状況に応じて防除を行います。



注意事項

- 結球始期7日後以降は、幼虫が株内に定着し易くなるので、重点的に防除する。
- エマメクチン安息香酸塩乳剤散布後は、3~4日以内にフルベンジアミド水和剤等を散布する。
- ピリタリル水和剤散布時の展着剤加用にあたっては、殺虫効果を低下させる場合があるので注意する。